

K.2 Series

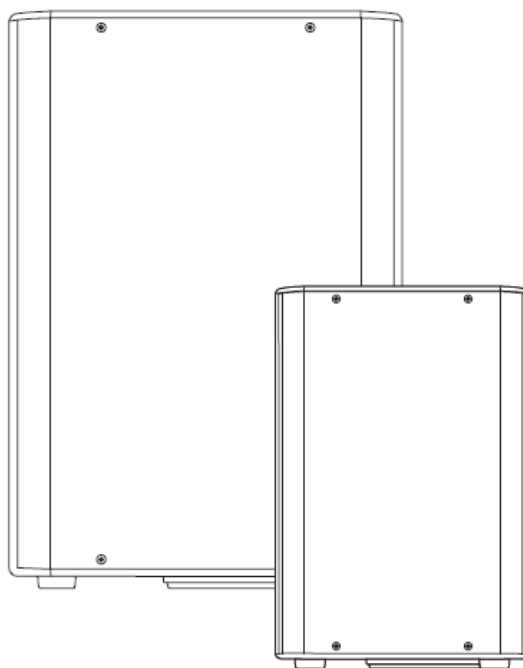
User Manual

QSC®

CP8 – 90° 1000 W active 8" (200 mm) 2-way loudspeaker system

CP12 – 75° 1000 W active 12" (300 mm) 2-way loudspeaker system

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

記号の説明

「警告！」：身体の安全に関わる記号です。指示が守られない場合、傷害に至る危険性があります。

「注意！」：物理的機器の損傷についての記号です。指示に従わずに生じた不具合については、保証の対象外となる場合があります。

「重要！」：製品を正しく使用するために必要不可欠な指示や情報を示しています。

「注」：追加の大切な情報を示しています。



このマークは、危険をユーザーに警告しています。製品内の電圧により、感電の危険性があります。



注意：このマークは、安全にご使用いただくための注意喚起を示します。

安全上の重要事項



警告！：火災や感電を防止するために、本体を雨や湿気にさらさないでください。

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中にいれないでください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、アース付きプラグを使用してください。プラグのブレードは一方が幅広になっています。アース付きプラグには、2つのブレードとアースピン（グラウンド）が付いています。幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。プラグが上手く挿さらない場合、技術者にコンセントの差し込み口を確認して貰う事をお勧めします。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに

使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合があります。

11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
15. 地域の法律に沿ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

最新の電子技術と素材を使用した製品のため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理はQSCの代理店にて行ってください。

注意！：この製品はFCC規則第15部に準拠しており、Class B digital deviceに認定されています。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります。設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

RoHS 対応

本製品はRoHSに対応しています。

目次

記号の説明.....	2
安全上の重要事項.....	2
メンテナンスと修理	3
RoHS 対応.....	3
詳細仕様.....	5
各部の名称.....	6
アプリケーション	7
設置	8
設置場所.....	9
電源	10
入力	11
出力	14
ボイスコントロール	15
接続.....	16
寸法	18

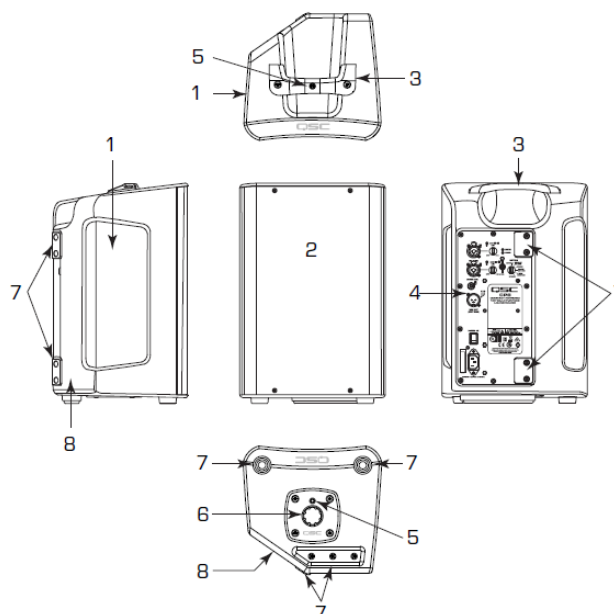
詳細仕様

	CP8	CP12
構成	2way パワードスピーカー	
LFトランスデューサー	8 インチ(203mm)コーン	12 インチ(305mm)コーン
HFトランスデューサー	1.4 インチ(35.6mm)チタン・ダイアフラム・コンプレッションドライバー	
周波数特性(-6dB)	56Hz - 20kHz	49Hz - 20kHz
周波数特性(-10dB)	53Hz - 20kHz	47Hz - 20kHz
公称カバレッジ角	90 度	75 度
最大音圧レベル	124dB	126dB
アンプ	クラス D、ピーク出力: 800W (LF)、200W (HF)	
コントロール	電源 ゲイン×2 MIC ブースト・プッシュスイッチ 6way ボイス選択スイッチ	
インジケータ	電源 LED 入力信号 LED×2 入力 B: マイク選択 LED リミッター・アクティブ LED	
コネクター	コンボ(ロック付)×2(MIC/ライン入力+MIC/ライン入力) 3.5mm ステレオミニ入力×1 XLR/オス(ミックス出力)×1 電源コネクター(IEC タイプ)×1	
電源	AC100V、50 - 60Hz	
消費電力(1/8Power)	100W、0.75A	
エンクロージャー材質	ポリプロピレン	
アタッチメント・ポイント	M8×2(ヨークブラケット用)	
色	黒(RAL 9011)	
グリル	18 ゲージ・パウダーコーティング・スチール	
寸法(H×W×D)	411×273×256mm	516×350×323mm
質量	9.5kg	13.7kg
重量	11.4kg	16.5kg
安全規格	EMC、UL、CB、EAC	
オプション	CP8 Tote、CP8 Outdoor Cover CP8 Yoke	CP12 Tote、CP12 Outdoor Cover CP12 Yoke

各部の名称

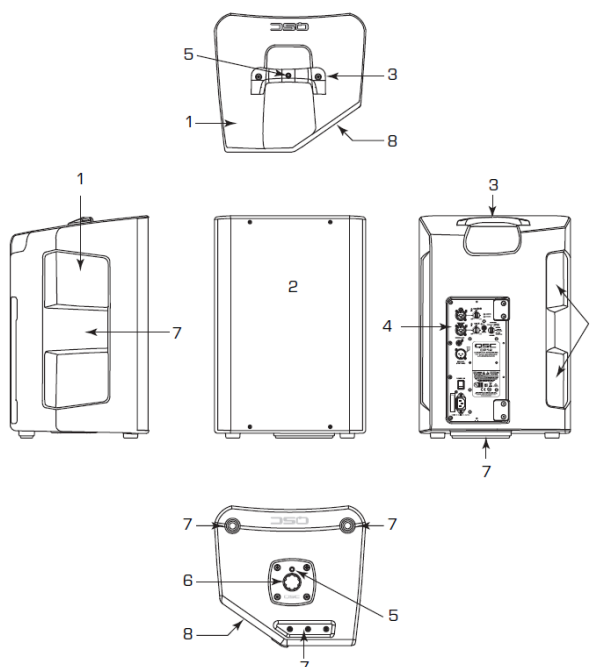
CP8

1. エンクロージャー
2. スチールグリル
3. ハンドル
4. パワーモジュール
5. ヨーク取付けポイント (M8)
6. ポールソケット (35mm)
7. 滑り止めゴム足
8. フロアモニター用背面パネル



CP12

1. エンクロージャー
2. スチールグリル
3. ハンドル
4. パワーモジュール
5. ヨーク取付けポイント (M8)
6. ポールソケット (35mm)
7. 滑り止めゴム足
8. フロアモニター用背面パネル



アプリケーション

CP シリーズはエンターテインメントや司会など、様々な用途に使用できる、ポータブルオーディオ向けに設計されたパワードスピーカーです。単体、ステレオペア、ディレイシステムなどに使用できます。また、メインシステム、フロアモニター（図 3）どちらも素晴らしいサウンドを提供することができます。

2 つのモデルにはポールマウント用 35mm ソケットが装備されていて、スピーカースタンドまたはサブウーハー上に取り付けることができます。さらに、ヨーク（CP8 YOKE、CP12 YOKE）により縦、または横向きで固定し、設置することもできます。（図 5、6 参照）

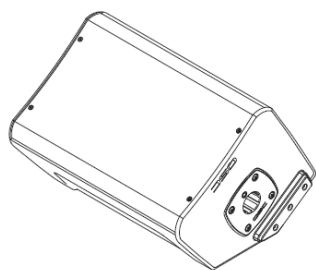


図 3

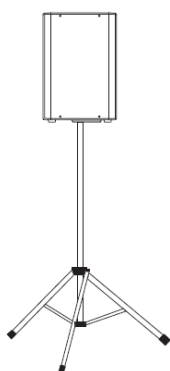


図 4

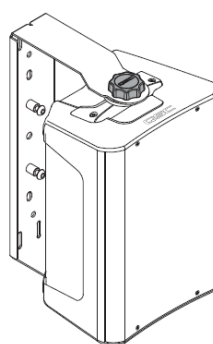


図 5

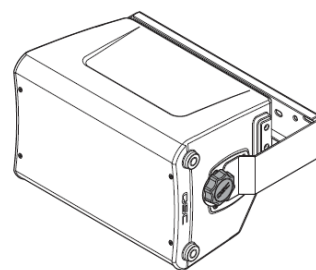


図 6

設置



注意：本スピーカーを設置する前に使用するハードウェア、吊り金具、キャビネット、トランスデューサー、ブラケット、アクセサリなどを点検してください。腐食、変形、定格以下の部品の使用は設置強度低下を起し、安全性に大きく影響を与えます。たとえ短期間で、過負荷がかかることが予想されなくとも、必ず設置条件に合致する部品を使用してください。

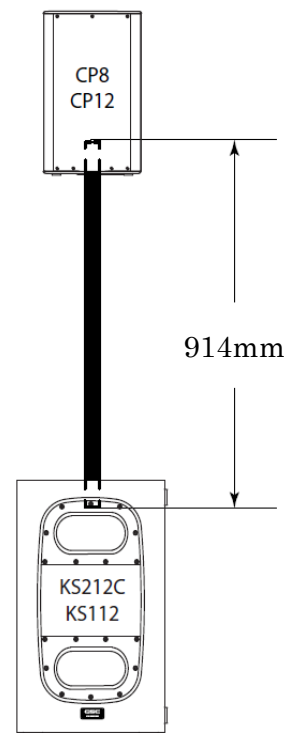
ハードウェアや機材の定格を超える負荷が加わることがないようにしてください。

スピーカーの設置に関しては専門の工事業者に依頼してください。

国及び各地方自治体の安全基準に従って設置してください。



注意：設置用ポールは下記の長さを超えないようにしてください。



CP シリーズ	サブウーハー	
	CP212C	CP112
CP8	914mm	914mm
CP12	914mm	914mm

吊り下げ（サスペンション）

CP シリーズはアイボルトを使用した吊り下げに対応していません。

※オプションのヨークを使用して吊り下げることができます。

設置場所

本機にはパワーアンプが搭載されており、内部温度が上昇します。本体の冷却効率を高めるため、キャビネットの後側から壁まで最低 150mm 以上離して設置し、空気の流れを妨げるものを置かないでください。



注意：スピーカー本体は直射日光を避けて設置してください。直射日光により本体内部温度が上昇し、出力が低下する場合があります。最大使用環境温度は 50℃です。水には大変弱いいため、雨などがかからないよう十分ご注意ください。

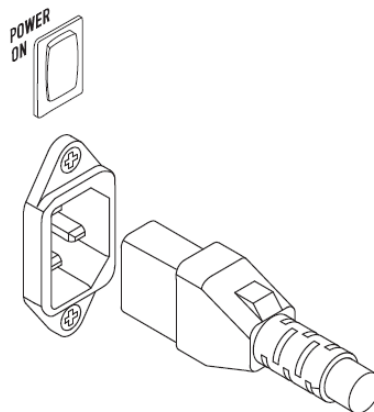
電源

電源コード

9. 電源コードをアンプ背面パネルの電源コネクタに差し込んでください。
10. 電源スイッチが **Off** になっていることを確認してから電源コードをコンセントに差し込みます。

電源コードを抜く際には、最初に電源スイッチを **Off** にします。電源コードをコンセントから外してから抜きます。

付属の電源ケーブルは本機専用ケーブルです。他の機器では使用しないでください。



電源スイッチ LED

電源を入れるとリアパネルの電源 LED（緑色）が点灯します。

※電源スイッチを入れても電源 LED が点灯しない場合、電源コードが正しく接続されているか確認してください。

電源 On/Off 手順

電源 On/Off の手順を守ることでスピーカからノイズが出るのを防ぐことができます。常にスピーカの電源は最後に **On**、最初に **Off** のルールを守ってください。

電源 On 手順

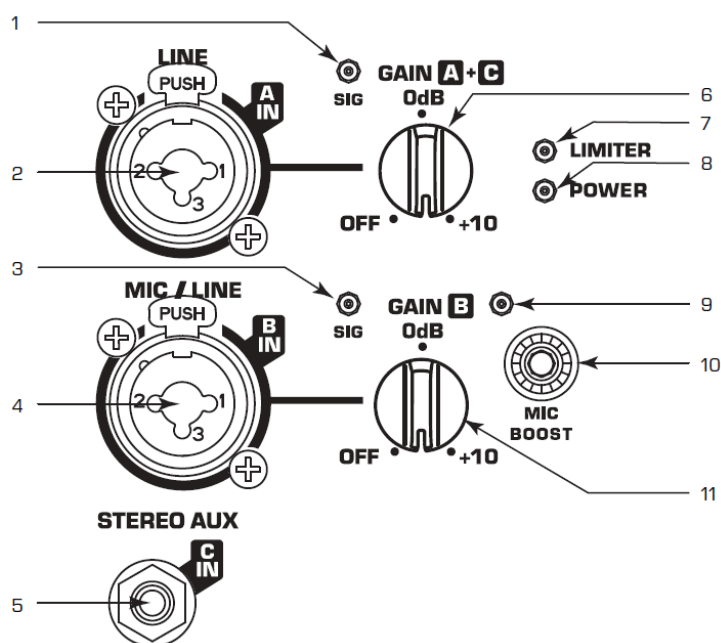
1. CD プレーヤー、ミキサー、楽器などのボリュームが最小になるように各つまみをセットしてください。
2. 各音源機器の電源を入れてください。
3. サブウーハーの電源を入れてください。
4. CP シリーズの電源を入れてください。
5. 各音源のボリュームをセットしてください。

電源 Off 手順

1. CP シリーズの電源を切ってください。
2. サブウーハーの電源を切ってください。
3. 各音源の電源を切ってください。

※CP シリーズを連結して使用している場合、連結元の電源を先に入れてから供給先の電源を入れてください。電源を切るときは供給先の電源を先に切ってから連結元の電源を切ってください。

入力



CP シリーズはコンボ (XLR/フォン) x 2 と 3.5mm ステレオミニ x 1 を搭載しています。

1. 入力 A SIG LED (緑)
A に入力信号があるときに点灯します。
2. 入力 A
ライン入力端子 (コンボ (XLR/フォン)) です。
3. 入力 B SIG LED (緑)
B に入力信号があるときに点灯します。
4. 入力 B
マイク/ライン入力端子 (コンボ (XLR/フォン)) です。

5. 入力 C
ライン入力端子 (3.5mm ステレオミニ) です。
6. GAIN A+C
入力 A+C のゲインを調整します。
7. LIMITER LED (赤)
アンプやスピーカーを保護するため、搭載されたリミッターが働いたとき点灯します。
周波数に拘わらず信号レベルが高すぎる、アンプの温度が上昇したときなど、このリミッターが働き、LED が点灯します。
8. POWER LED (緑)
電源スイッチを **On** にして電源が投入されたとき点灯します。
9. MIC BOOST LED (黄)
マイク入力に設定されているとき点灯します。
※マイク/ライン入力端子にはファンタム電源は供給されていません。
10. MIC BOOST ボタン
このボタンを押すと入力 B が **MIC レベル (+25dB)** に切り替わります。
※マイクを差し込んでからこのボタンを押してください。ラインレベル信号を入力してこのボタンを押すと大きな音が出力されたり、音が歪みむことがあります。



注意：全ての入力に対するゲインコントロールを **0dB** に設定すると、**MIX OUT (POST GAIN)** の出力は入力信号と同じレベルになります。スピーカーを連結し、マスタースピーカーと同じレベルの信号をスレーブスピーカーで再生しようとする場合、スレーブスピーカーのゲインコントロールは **0dB** に設定してください。

バランス接続

XLR プラグは図 10 にように接続してください。

1.  シールド (アース)
2. **+** プラス
3. **-** マイナス

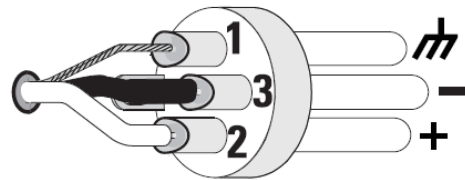


図 10

フォンプラグ (TRS) は図 11 のように接続してください

1.  シールド (アース)
2. **-** マイナス
3. **+** プラス

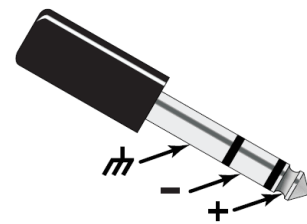


図 11

アンバランス接続

XLR プラグは図 12 にように接続してください。

1.  シールド (アース)
2. **+** プラス
3. **-** マイナス

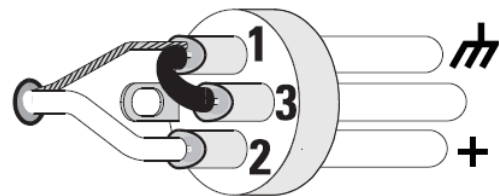


図 12

フォンプラグ (TRS、TS) は図 13 のように接続してください。

1.  シールド (アース)
2. **-** マイナス
3. **+** プラス

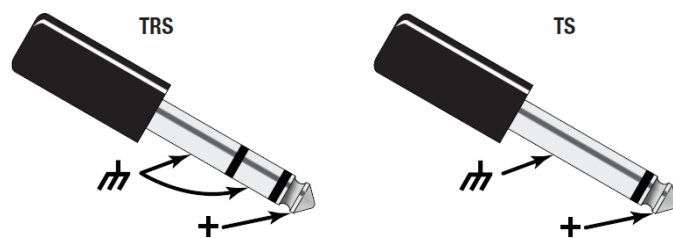


図 13

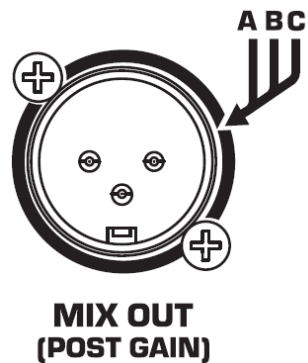
出力

1. MIX OUT (Post Gain) 出力

チャンネル A、B、C のミックス信号です。各チャンネルの出力はゲインコントロールにより変わります。この信号は DSP プロセッシングによる音色の変更を含んでいません。



注意：MIX OUT (Post Gain) 出力を同じスピーカーの入力端子に接続しないでください。



ボイスコントロール

CP シリーズは用途に応じて 6 種類のボイスを選択することができます。ボイス設定は両方の入力に対して有効です。

- **Default** : 標準ボイス（ライブ、音源再生、楽器向け）
- **Default Ext Sub** : 標準ボイスに 80Hz ハイパスフィルターを付加（KS112 などサブウーハー向け）
- **Dance** : 低域を強調し中高域を明瞭化（ポップミュージック、エレクトロニック・ミュージックなど音源再生向け）
 ※MIC BOOST をオンにすると入力 A は「Dance」のまま変わらず、入力 B は「Speech」になります。
- **Dance Ext Sub** : Dance に 80Hz ハイパスフィルターを付加 (KS112 などサブウーハー向け)
 ※MIC BOOST をオンすると入力 A は「Dance」のまま変わらず、入力 B は「Speech」になります。
- **Floor Monitor** : ステージモニター用サウンド。マイクが近くにある場合でもしっかりとしたサウンドを提供
- **Speech** : 入力 B に対してハンドヘルドマイク、またはヘッドセットマイクを使用したときにしっかりとした明瞭なサウンドを出音。入力 A/C は標準ボイスとなり、サウンドは変わりません。

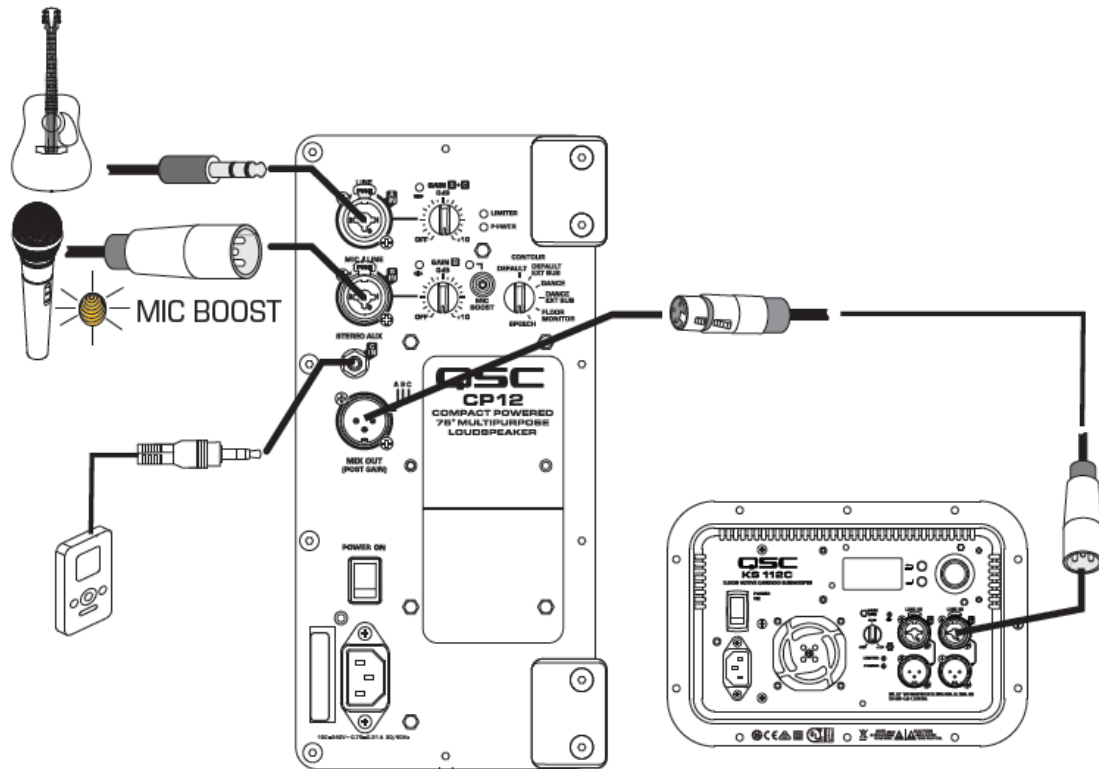
MIC BOOST

MIC BOOST ボタンを押すと入力 B に+25dB を付加します。下の表にボイスの変化を表します。

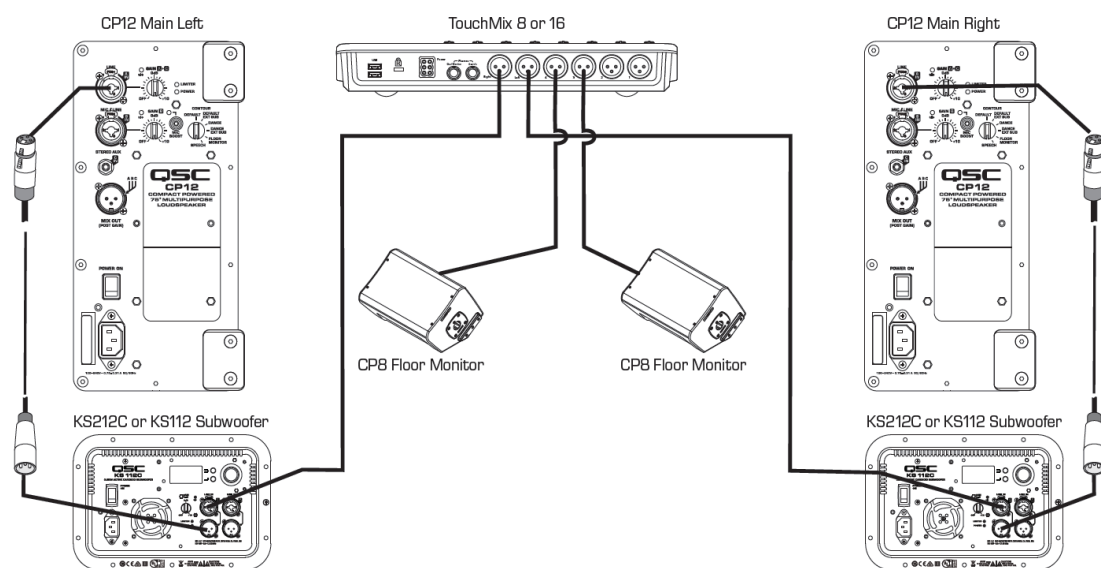
ボイス	入力 A	入力 B	入力 B (MIC BOOST ON)
Default	Default	Default	Default (+25dB)
Default w/sub	Default w/sub	Default w/sub	Default w/sub (+25dB)
Dance	Dance	Dance	Speech (+25dB)
Dance w/sub	Dance w/sub	Dance w/sub	Speech (+25dB)
Floor Monitor	Floor Monitor	Floor Monitor	Floor Monitor (+25dB)
Speech	Default	Speech	Speech (+25dB)

接続

サブウーハーを含むオールインワン PA システム

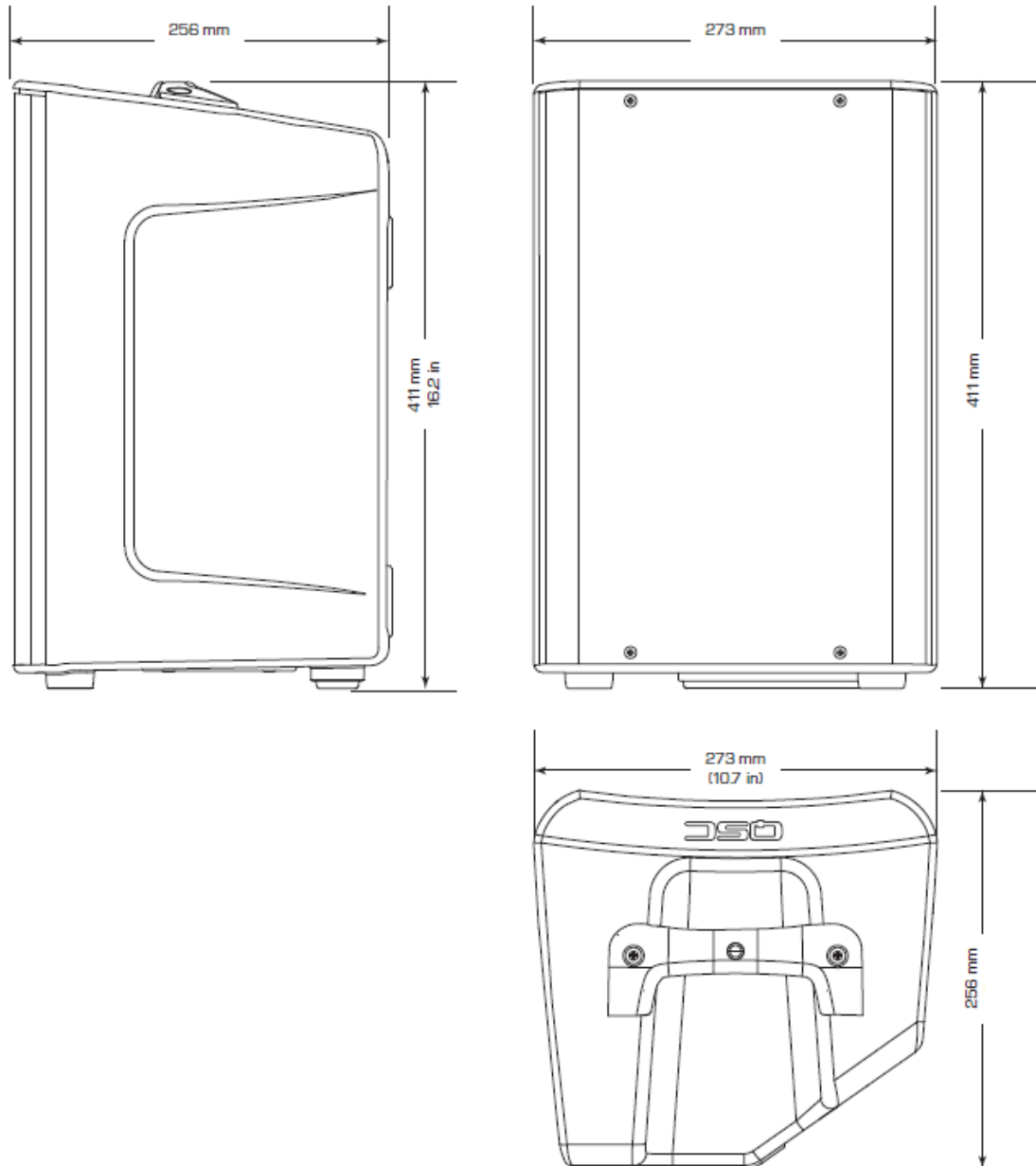


トータル・ステレオシステム



寸法

CP8



CP12

